

# 市民文芸

## 短歌

阿南市春季短歌誌上大会選

### 役員選

陶久 陽子

鍋の中フツフツ笑う団子たち義母との想い  
きまぜており

### 入選

森 マスミ

英首相「孤独担当相」新設す身につまされて  
連合いの顔見る

### 入選

山西 成彬

むせかえる芽吹く匂いと里芋の種をともども  
深く埋め込む

### 入選

吉永賀代子

いつよりか吾のサイズを追い越してひっくり  
返る孫のスニーカー

### 入選

新居 久子

リュック背に少年二人だだだあつと駅の階段  
かけ下りてゆく

### 入選

枝川 照子

あの世より眺めておらん夫は言う焦らず急が  
ず命惜しめと

### 入選

湯浅佐智子

帰りゆく子等と初めてのハグなせば絆ほのぼ  
の背より来たる

## 俳句

阿南市俳句連合会選

河野 柳史

ほととぎす啼かねば淋し啼けばなほ

物置の扉軋めき梅雨に入る

田木 勲

立葵背伸びして見る島渡船

喜来富士子

父の日や遠き娘の便りあり

古川北斗星

青時雨離れ座敷へ松くぐる

中富 範子

敷物を誉めてくれたる夏座敷

吉田 當代

鮎舟に生簀といふはなかりけり

宮崎三千代

政官の辻棲合わせ五月尽

横井 知昭

昼寝時嬰は真中大の字に

森 君江

燕の巣殻一つ落ち雨の午後

松村みどり

## 川柳

阿南川柳会 鈴木レイ子選

信頼の笑顔とえがお幸福る

持木 寿栄

本物が掻く孫の手に無理言えず

橋本 征介

ジイゆずり孫の瞳も頑固さも

佐藤つたえ

年金の庭にも小鳥来て笑う

西田 修身

わが道をゆつくり老いるありのまま

田上 鶴子

旅の湯にお国自慢の二つ三つ

瀧川 太郎

## 一般応募

お宝はないが家族の愛がある

島尾美津子

あななんのピンクのほつぺ夏の恋

仁井 信子

サイン帳青春時代ありありと

吉田 當代

質素でも愛の詰まった母の味

武田 敏子

## 漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

### 消夏偶成

雷聲殷殷亂雲天  
倏忽空濛風颯然  
白雨一過消午熱  
新涼快受北窗前

雷聲殷々 乱雲の天  
倏忽 空濛として風颯然  
白雨一過 午熱を消す  
新涼 快受す北窓の前

増喜 泰典

### 山村夏夜

仰看高天蟾兔圓  
雲間皎皎景物娟  
滿懷爽氣三更榻  
独領清風詩一篇

仰ぎ看る高天 蟾兔円やかに  
雲間皎々 景物娟なり  
滿懷の爽気 三更の榻  
独領す清風 詩 一篇

谷口田鶴子

### 四國靈場二十二番平等寺

紅楓翠竹彩山麓  
古刹清鐘響法堂  
湧出加持靈白水  
大師遺德潤吾郷

紅楓 翠竹 山麓を彩り  
古刹の清鐘 法堂に響く  
湧き出す加持 靈白の水  
大師の遺徳 吾郷を潤す

折野 博子

※蟾兔：月の異名。月にヒキガエルと兔が住むという伝説による。